

北 関 東 自 動 車 道 下野スマート I C 舗装工事

契約参考図書 (率計上項目及び概算数量、図面)

令 和 7 年 1 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
宇 都 宮 管 理 事 務 所

1	舗装工
2	標識工
3	土工部管路工
4	契約参考図書
5	参考図

- ・ 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を提示する資料であり、工事請負契約書にいう設計図書でない。（請負契約上拘束力はない）
- ・ 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

特一(13) 率計上に関する事項

[illegible]

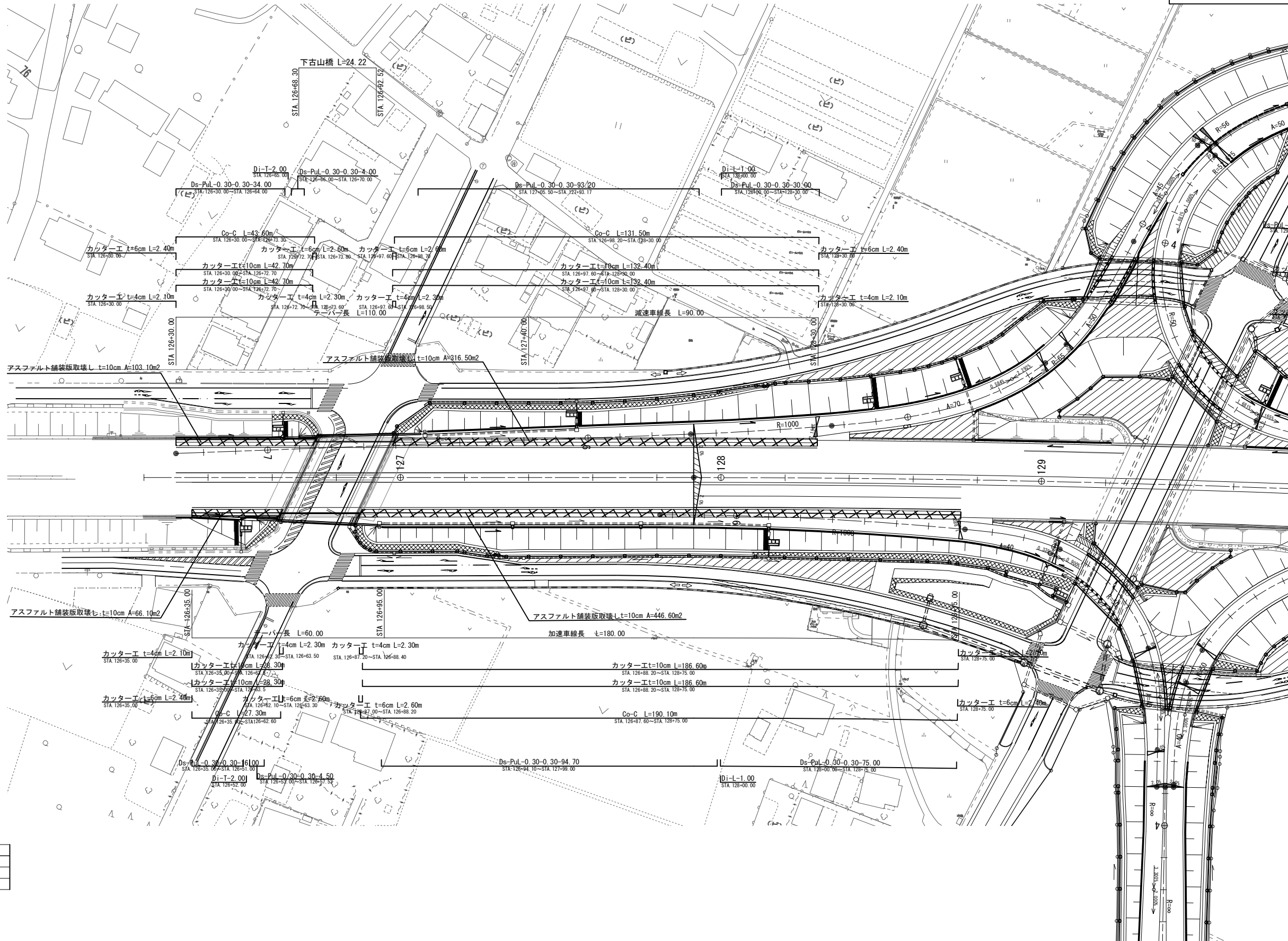
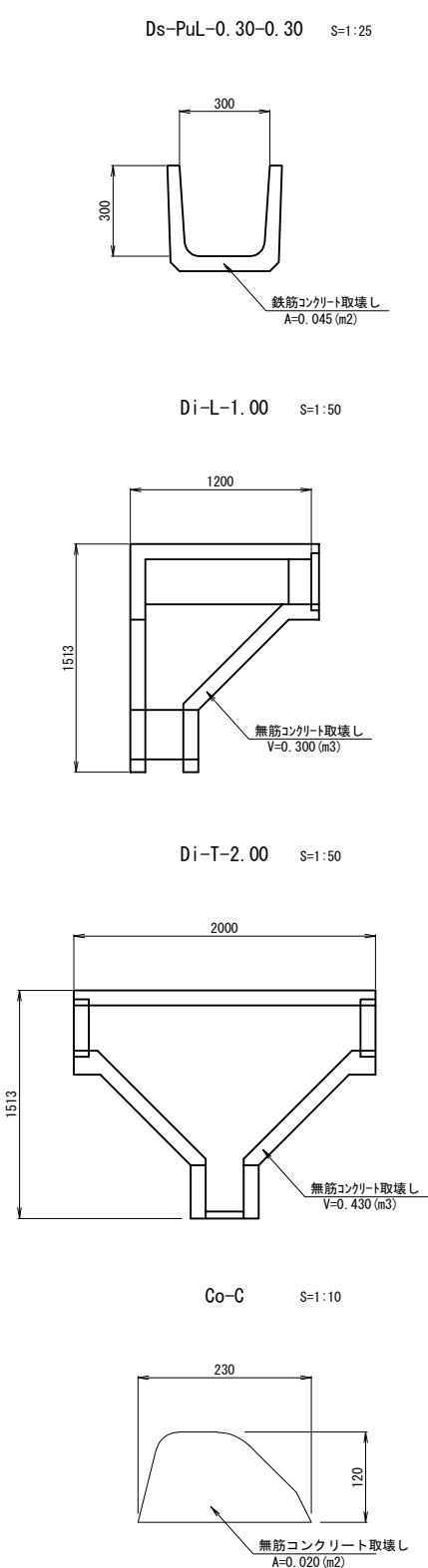
目次

頁

1. 構造物取壊し工平面図 . . .	1 ~ 2
2. 交通規制図	3 ~ 6

構造物取壊し工平面図（１）

S=1:1250



Co-C 集計表

項 目	断面積	西行き		東行き	
		延長	体積	延長	体積
単 位	m2	m	m3	m	m3
数 量	0.020	217.4	4.35	175.1	3.50

アスファルト舗装版取壊し集計表 東行き(壬生IC～下野スマートIC間)

項 目	アスファルト舗装版				カッターエ
	t=10cm	t=4cm	t=6cm	t=10cm	
単 位	m2	m	m	m	m
数 量	419.6	8.8	10.0	350.2	

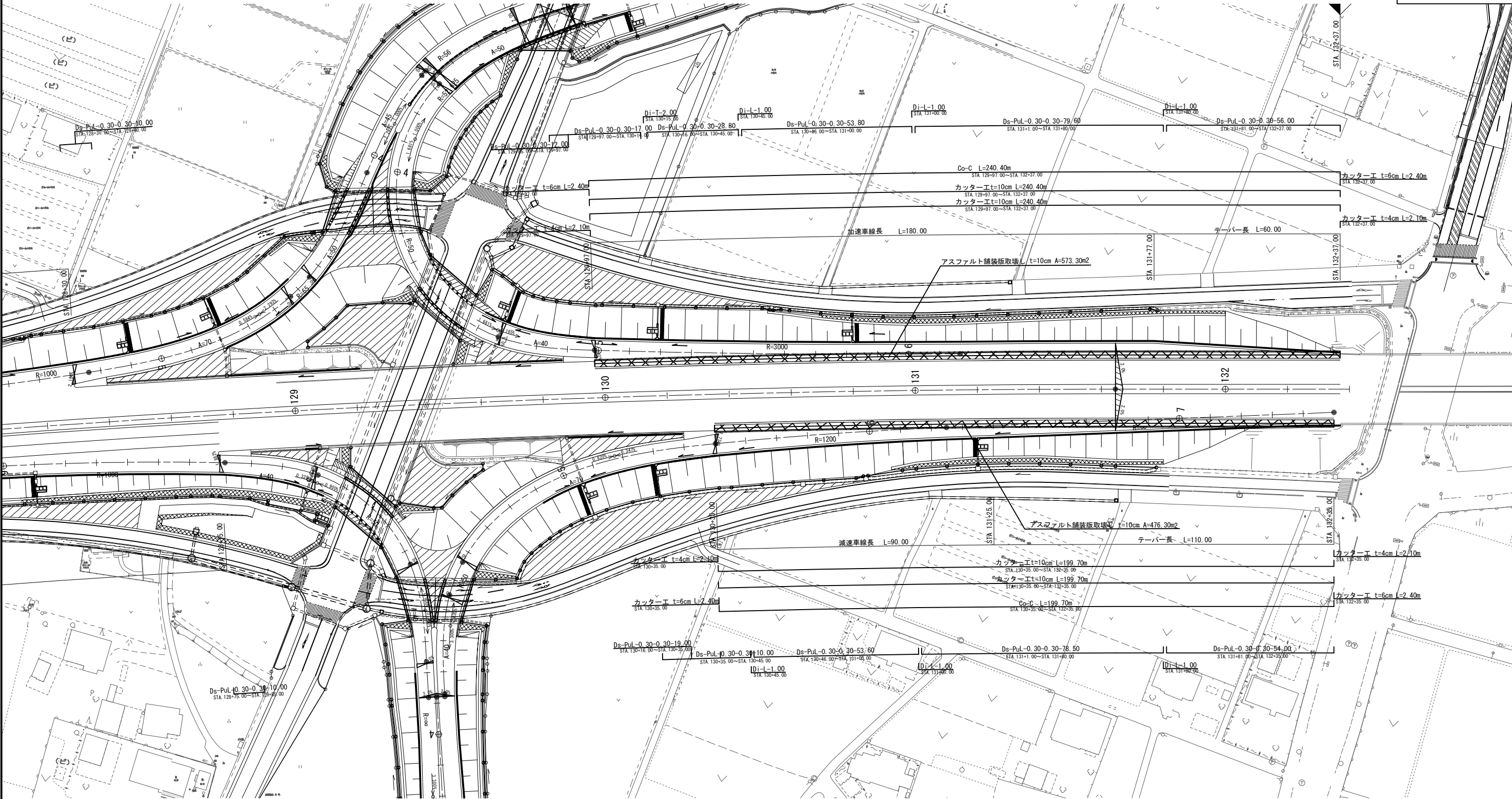
アスファルト舗装版取壊し集計表 西行き(壬生IC～下野スマートIC間)

項 目	アスファルト舗装版				カッターエ
	t=10cm	t=4cm	t=6cm	t=10cm	
単 位	m2	m	m	m	m
数 量	512.7	8.8	10.0	429.8	

数量表 (壬生IC～下野スマートIC間)

項目	種別	単位	数量			備考
			西行き	東行き	計	
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeA)	m3	5.1	4.2	9.3	無筋
	コンクリート構造物取壊し (TypeB)	m3	8.6	7.3	15.9	有筋
	アスファルト舗装版取壊し (TypeA)	m2	512.7	419.6	932.3	

北 関 東 自 動 車 道 下野スマートIC舗装工事			
図面の種類		構造物取壊し工平面図 (1)	
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 宇 都 宮 管 理 事 務 所		



Co-C 集計表

項 目	断面積	西行き		東行き	
		延長	体積	延長	体積
単 位	m2	m	m3	m	m3
数 量	0.020	199.7	3.99	240.4	4.81

アスファルト舗装版取壊し集計表 東行き(下野スマートIC間～宇都宮上三川IC間)

項 目	アスファルト舗装版	カッター工			
	t=10cm	t=4cm	t=6cm	t=10cm	
単 位	m2	m	m	m	
数 量	573.3	4.2	4.8	480.8	

アスファルト舗装版取壊し集計表 西行き(下野スマートIC間～宇都宮上三川IC間)

項 目	アスファルト舗装版	カッター工			
	t=10cm	t=4cm	t=6cm	t=10cm	
単 位	m2	m	m	m	
数 量	476.3	4.2	4.8	399.4	

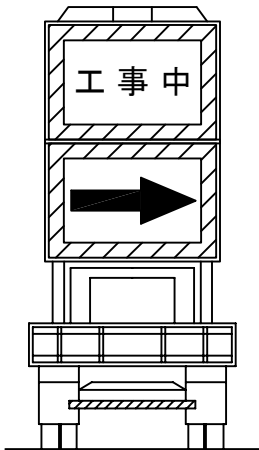
数量表（下野スマートIC部）

項目	種別	単位	数量			備考
			西行き	東行き	計	
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeB)	m3	1.3	1.0	2.3	有筋

数量表（下野スマートIC～宇都宮上三川IC間）

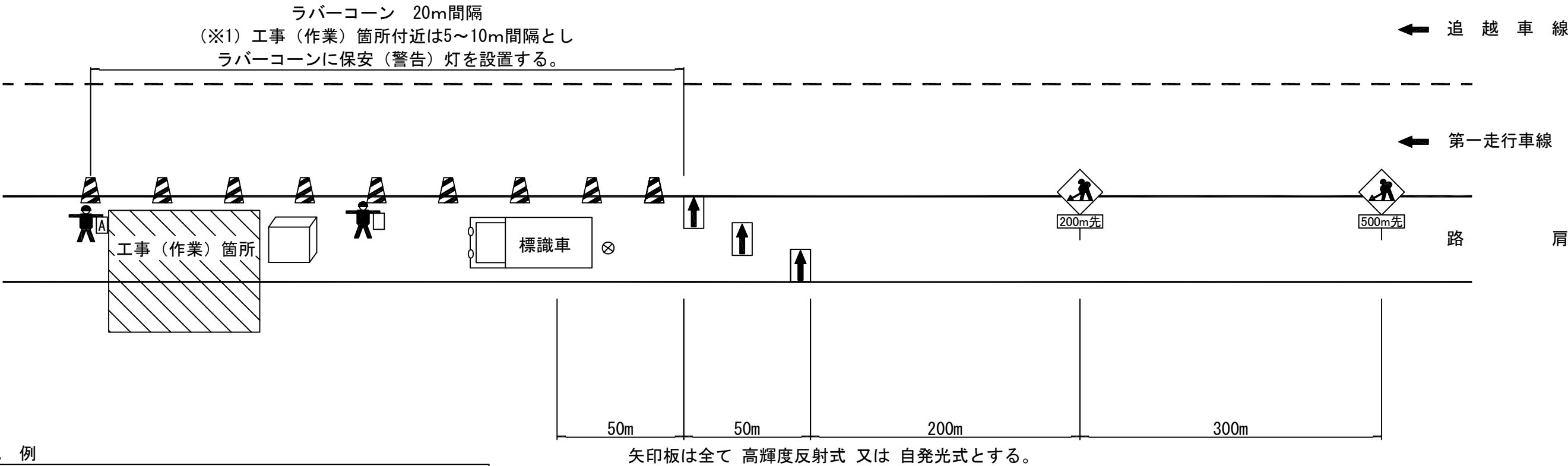
項目	種別	単位	数量			備考
			西行き	東行き	計	
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeA)	m3	4.9	6.1	11.0	無筋
	コンクリート構造物取壊し (TypeB)	m3	8.8	10.6	19.4	有筋
	アスファルト舗装版取壊し (TypeA)	m2	476.3	573.3	1049.6	

北 関 東 自 動 車 道 下野スマートIC舗装工事			
図面の種類	構造物取壊し工平面図 （２）		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 宇 都 宮 管 理 事 務 所		



- 注）
- ・ 図中の数値は現地の状況により変化することがある。
 - ・ 衝突緩衝装置を装着した標識車を使用する場合はクッションドラムを除くことがある。
 - ・ 危険車両が接近したときに規制内の作業員等へ警告するため警報付安全装置、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
 - ・ （※1）については、規制内を移動しながら行う作業については省略可とする。
 - ・ 交通監視員Aの人員については、交通規制工に含まない。

中央分離帯



凡 例



交通監視員



交通監視員A



クッションドラム



ロボット



進入車両強制停止装置
又は防護車両

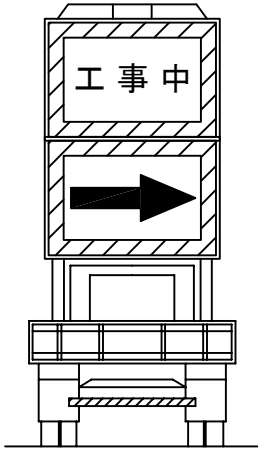


回転灯

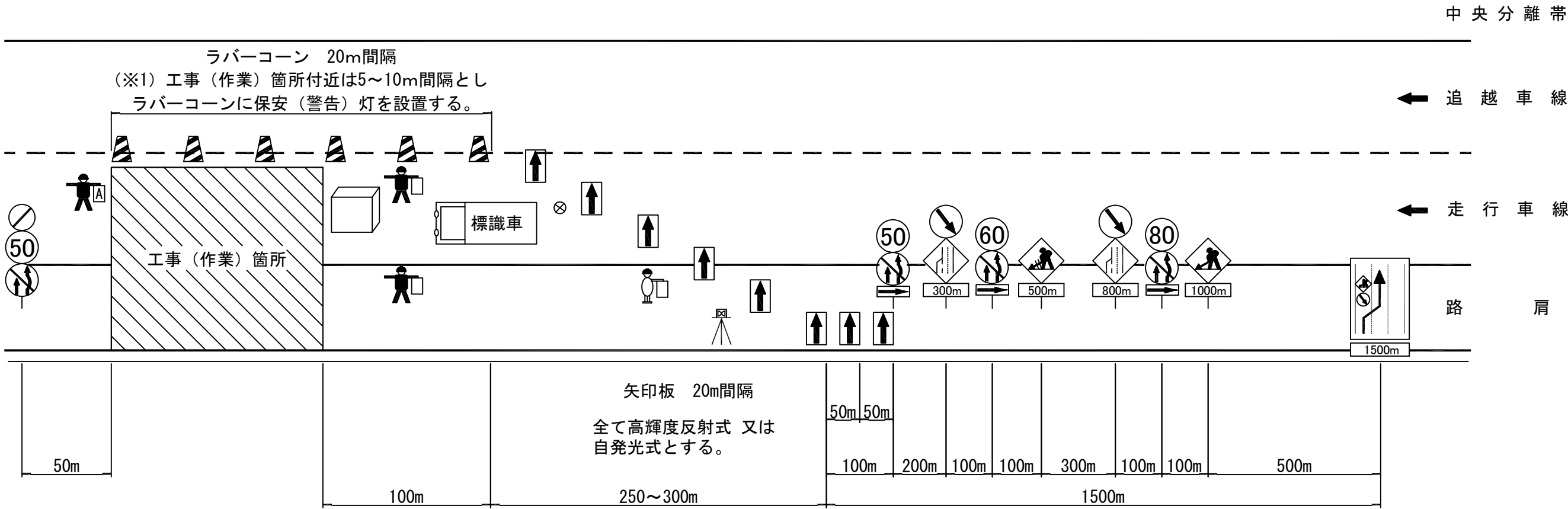
北 関 東 自 動 車 道 下 野 ス マ ー ト I C 儲 装 工 事			
図面の種類	交通規制図（１） 路肩規制Ⅰ×１		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 宇 都 宮 管 理 事 務 所		

交通規制図（２）
（走行車線規制Ⅰ×Ⅰ×Ⅰ、Ⅱ×Ⅰ×Ⅰ）

走行車線規制（４車区間）



- 注）
- ・ 図中の数値は現地の状況により変化することがある。
 - ・ 規制設置及び撤去時は、発炎筒を各々３本ずつ使用する。
 - ・ 衝突緩衝装置を装着した標識車を使用する場合はクッションドラムを除くことがある。
 - ・ 必要に応じて交通監視員を追加することがある。
 - ・ 危険車両が接近したときに規制内の作業員等へ警告するため警報付安全装置、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
 - ・ （※１）については、規制内を移動しながら行う作業については省略可とする。
 - ・ 交通監視員Aの人員については、交通規制工に含まない。



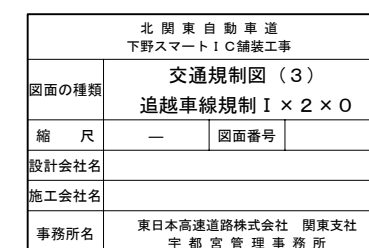
凡 例

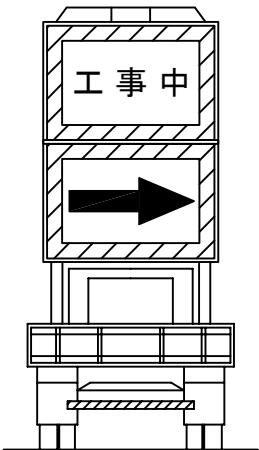
	交通監視員		交通監視員A
	クッションドラム		ロボット
	進入車両強制停止装置 又は防護車両		回転灯

北 関 東 自 動 車 道 下野スマートIC舗装工事			
図面の種類	交通規制図（２） 走行車線規制Ⅰ、Ⅱ×Ⅰ×Ⅰ		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 宇 都 宮 管 理 事 務 所		

注) ・図中の数値は現地の状況により変化することがある。

- ・規制設置及び撤去時は、発炎筒を各々3本ずつ使用する。
- ・衝突緩衝装置を装着した標識車を使用する場合はクッションドラムを除くことがある。
- ・必要に応じて交通監視員を追加することがある。
- ・危険車両が接近したときに規制内の作業員等へ警告するため警報付安全装置、大音量電子ホイッスル、可搬式センサネットワーク、遠隔操作式サイレン等の警報装置を使用する。
- ・(※1)については、規制内を移動しながら行う作業については省略可とする。
- ・交通監視員Aの人員については、交通規制工に含まない。



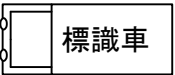
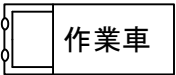


中央分離帯

← 追越車線

← 走行車線

路 肩



50～100m

※ 現地状況により、一時停止（１０分程度）し作業を行う場合がある。
※ 図面は、４車線区間の例である。６車線区間も同様とする。

北 関 東 自 動 車 道 下野スマート！Ｃ舗装工事			
図面の種類	交通規制図（４） 路肩移動規制		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 宇 都 宮 管 理 事 務 所		